| 科目名 | 小児看護学課題研究Ⅲ<br>Special ResearchⅢ in pediatric Nursing | 担当教員<br>(研究室番号) | 宮﨑　つた子（207）<br>前田　貴彦　（206） | 教員への連絡方法<br>（メールアドレス） | |
|---|---|---|---|---|---|

| 履修年次 | 2年次<br>後期 | 科目区分 | 専門科目 | 選択区分 | 分野必修 | 単位数（時間） | 2(30) | 授業形態 | 特別研究 | 科目等履修生 | 否 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 遠隔授業 | 一部 |

| | | |
|---|---|---|
| 科目目的 | 得られた結果や情報を検討し、それらが示す内容を考察し、課題論文としてとりまとめることができる。また、論文発表会でその成果を報告することができる。 | |
| ディプロマ・ポリシー（DP） | 主要なDP | ３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。 |
| | 関連するDP | ６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。 |
| 到達目標 | １．得られた結果や情報を検討し、その検討した結果を適切な方法で提示することができる。<br>２．検討した結果を考察し、課題論文としてまとめることができる。<br>３．課題論文としてまとめた内容を学内の論文発表会で報告し、質疑に応答することができる。 | |
| 成績評価方法（基準） | 課題論文（80%）、論文発表会での発表と質疑応答(20%) | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | |
| 参考書等 | 必要時に提示する。 | |
| 受講者へのメッセージ | 課題論文作成の最終段階です。論文完成に向け主体的かつ強い意志をもって取り組んで下さい。 | |
| 備考 | 論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。 | |

## 学　習　内　容

【到達目標１について】
・得られた結果や情報を検討し、その検討した結果が示す意味を理解する。
・検討から得られた結果が示すことをゼミナール等でプレゼンテーションおよびディスカッションを行い、深めていく。
・プレゼンテーションでは必要に応じて図や表を作成する。

【到達目標２について】
・文献をもとに得られた結果を考察し、明確で一貫性のある課題論文としてまとめる。

【到達目標３について】
・発表会で効果的に報告するための資料（パワーポイント）作成において、工夫することや注意することについて学ぶ。
・資料の作成にあたっては第三者からも理解できる内容にするように努める。
・発表会等で想定される質問とその回答について必要な資料を作成する。
・発表会での質疑に自己の見解を踏まえ応答する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。